

Week of August 11 - What Now? Small Group Lesson 13

知り合う

「富と名誉が神に仕える為に用いられない限り、私たちはそれらを誤って用いている。」- ジャン・カルヴァン『共観福音書』（アリマタヤ出身のヨセフの役割についてのコメント）

私たちはどうでしょうか？ 神に仕えるために使われていない富や名誉について、私たちはどのように注意することができますか？どのような場面で、どのようにすればよいのでしょうか？

聖句 - マタイによる福音書 27:57-66（聖書協会共同訳）

57 夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフと言う人が来た。この人もイエスの弟子であった。58 彼はピラトのところに行って、イエスの遺体の引き取りを願い出た。そこでピラトは、渡すように命じた。59 ヨセフは遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、60 岩に掘った自分の新しい墓に納めた。そして、墓の入り口に大きな石を転がしてから立ち去った。61 マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓に向かって座っていた。***類似の箇所 マルコ15:42-47、ルカ23:50-56a、ヨハネ19:38-42***

62 明くる日、すなわち、準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところに集まって、63 こう言った。「閣下、人を惑わすあの者がまだ生きていたとき、『自分は三日後に復活する』と言っていたのを思い出しました。64 ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』と民衆に言い触らすかもしれません。そうなると、人々は前よりも、もっとひどくだまされることになります。」65 ピラトは言った。「番兵を出してやるから、行って、思うとおりに見張らせるがよい。」66 そこで、彼らは行って石に封印をし、番兵と共に墓を見張った。

学び

1. アリマタヤのヨセフは、4つの福音書のそれぞれに登場します。私たちは何を結論づけることが出来ますか？福音書において、なぜ彼についての記載は重要なのでしょうか？

2. *マタイは、ヨセフが金持ちでイエスの弟子であったと記述しています。 ヨハネによれば、ヨセフはユダヤ人を恐れていたので、弟子であることを秘密にしていました。 しかしマルコは、ヨセフはピラトに近づくとき大胆であったと述べています。 マルコもルカも、ヨセフをイエスの弟子とは言っていませんが、神の国を求める高潔で神々しい人物としています。*
   a. ヨセフの描写が、4つの福音書のそれぞれで少しづつ違うのはなぜですかと聞かれたら、どのように説明しますか？
   b. このような違いは、聖書の真実性をより確証しますか、それとも、確証しませんか？
   c. ヨセフは金持ちであり、高潔であり、神々しい人物であり、（ピラトには）大胆であったが、ユダヤ人を恐れ、自分がイエスの弟子であることを隠していたという詳細な記述は、重要で有益なのでしょうか？

3. ヨセフがイエスの遺体を運び出し墓に納めた後、祭司長たちとファリサイ派の人たちは、イエスの弟子たちが遺体を盗み出し、イエスが死から復活したと主張し始めるのではないかと心配し始めました。
   a. なぜ、彼らは、このような事態を恐れるようになったのでしょうか？
   b. このような事態を防ぐために、彼らはどのような措置をとりましたか？
   c. 彼らの行動は、最終的にどのように福音の普及の助けとなりましたか？
   d. 二人のマリアがそこに座っていたという記述があるのは、なぜだと思いますか？(61節)

4. **分かち合い：** 主の体である教会に仕える機会を与えてくださる主に、あなたはどのように恵みを受けてきましたか？私たちはどのようにして、このように主の祝福を実感し、喜びを持つことができるのでしょうか？

賛美礼拝

御霊の導くままに、互いのために祈りましょう。以下についても祈りましょう。

- ❖ 今日の聖書箇所を正しく理解し、適用することが出来るように祈りましょう。
- ❖ 神が私たちに与えてくださった恵みに感謝する事が出来るように祈りましょう。
- ❖ 特に、キリストの贖いのための犠牲を通して、私たちの罪は赦され救いがもたらされた事について、感謝の祈りを捧げましょう。
- ❖ キリストに倣うことを常に求め、霊的に成長できるよう祈りましょう。